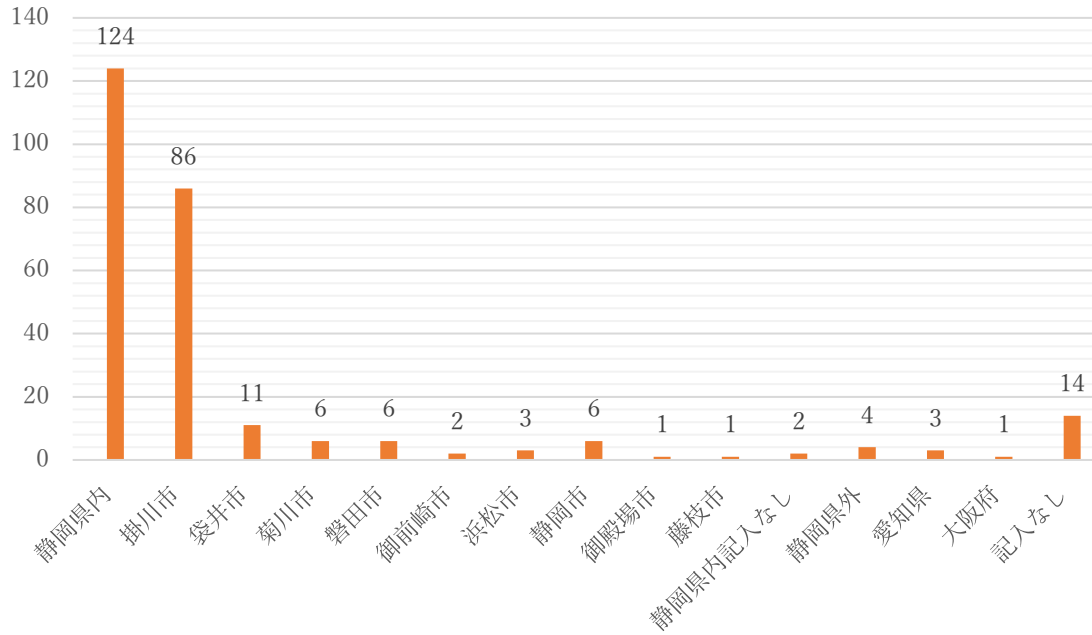


掛川市ひきこもり講演会

「ひきこもるところを知る」(令和5年8月11日開催) 報告

参加者 142名

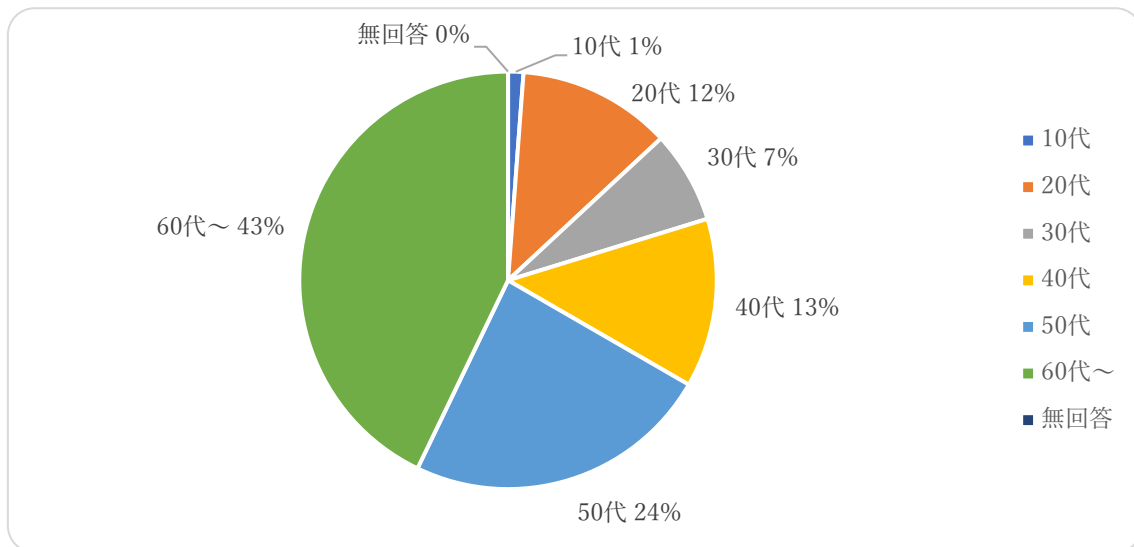
1. 参加者内訳



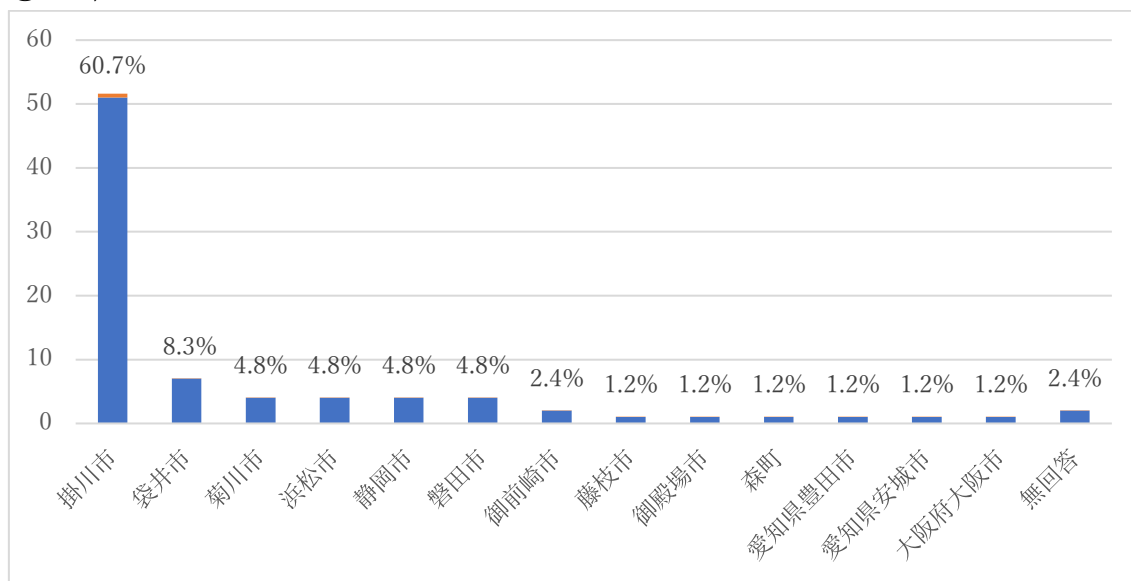
アンケート報告

回答数 84名

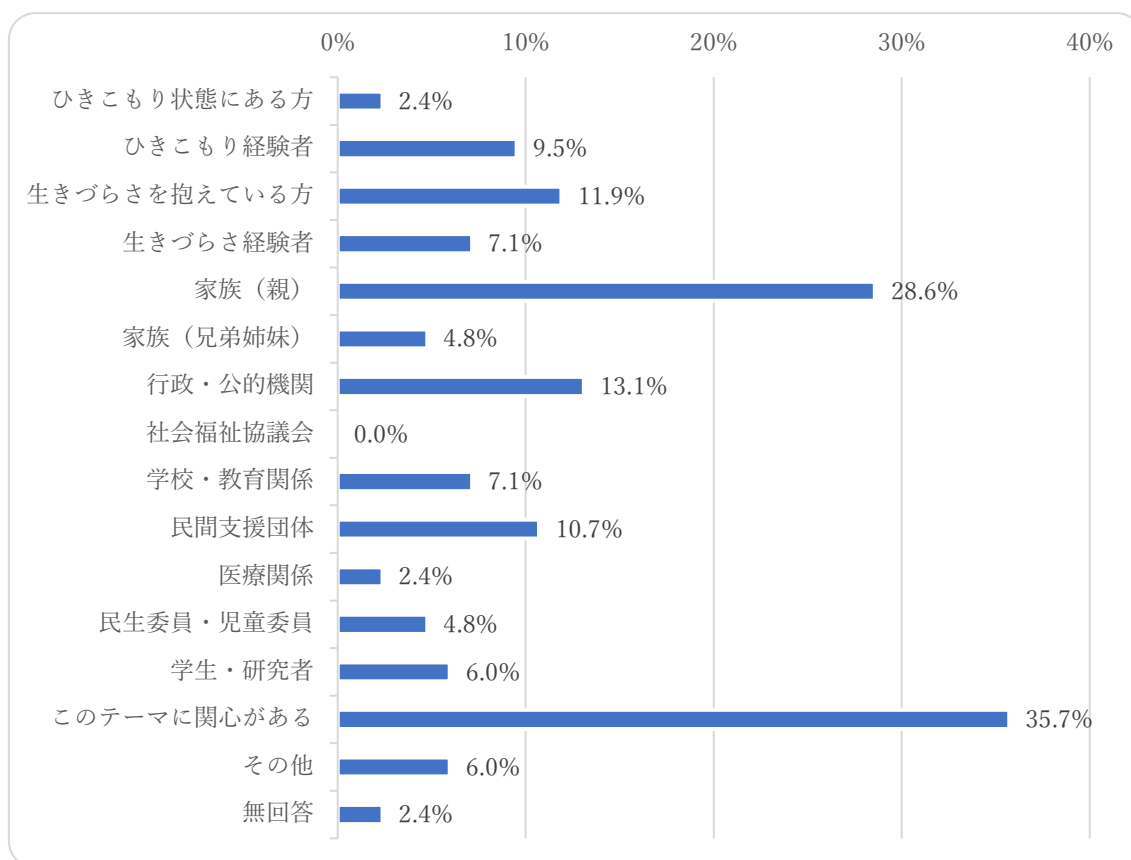
① 年代



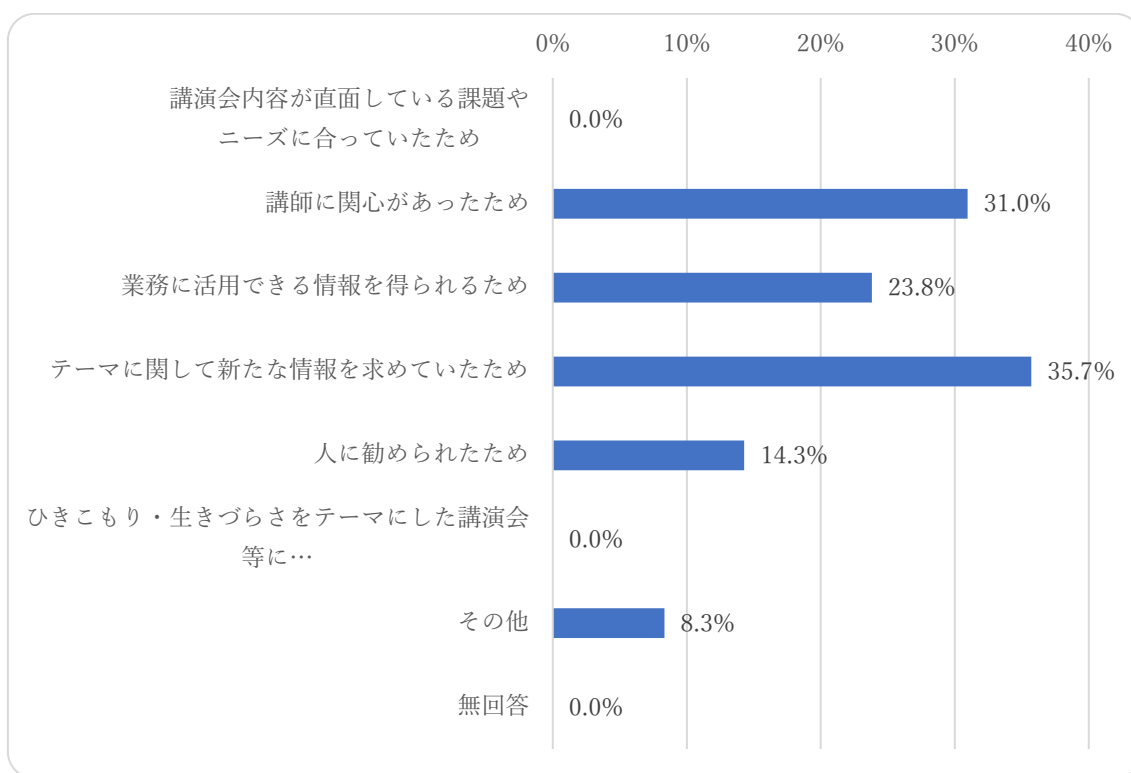
② お住まい



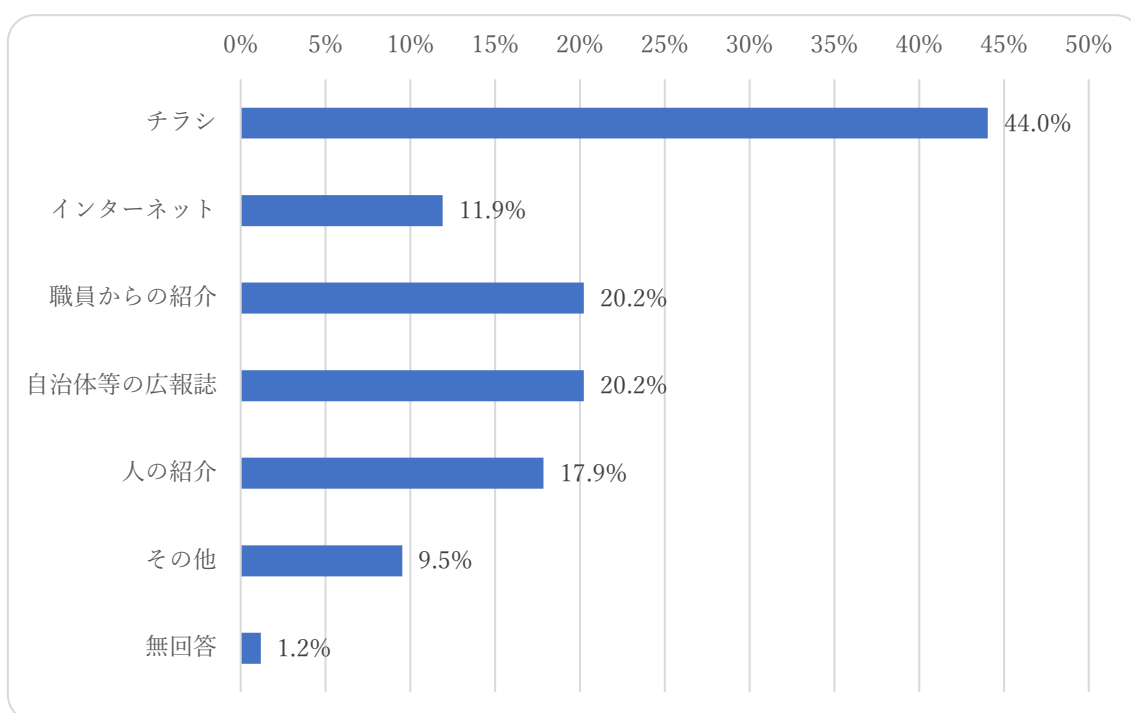
③ ひきこもり等に関してどのようなお立場ですか。(複数回答可)



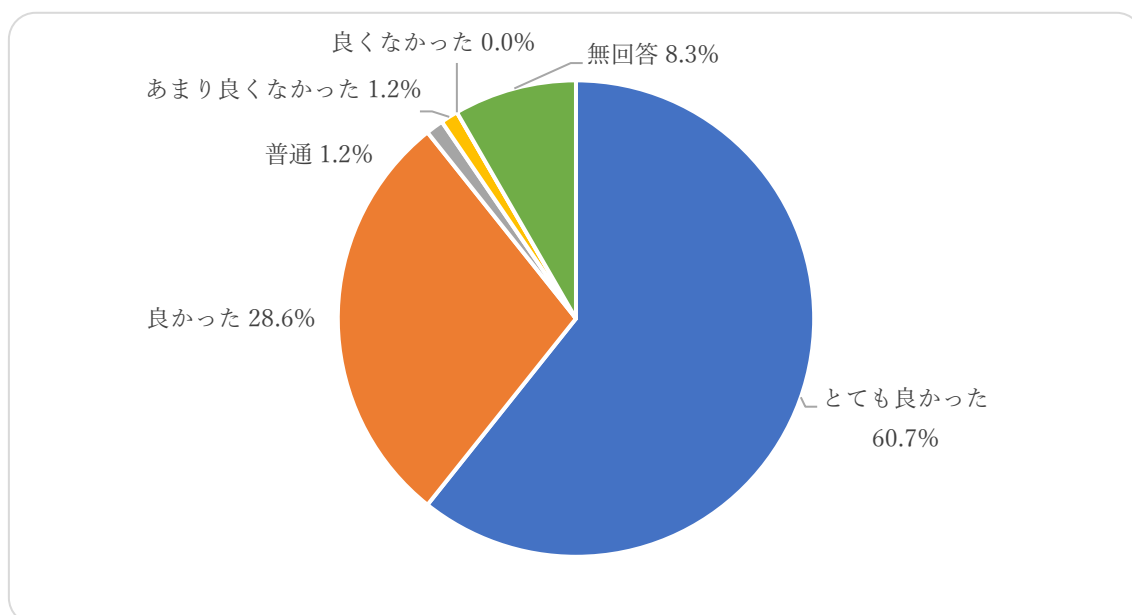
④ 本日の講演会に参加した理由を教えてください。(複数回答可)



⑤ 本日の講演会を何で知りましたか。(複数回答可)



⑥ 本日の講演会はいかがでしたか



⑦ 講演会の感想、ひきこもりに関して今後聞いてみたいテーマなど、ご自由にご記入ください。

○質問コーナーが良かったです！お話の中で散々言われているのに、やはり周囲の人々というのはどこかで「絶対的な解決方法があるはず…！」とってしまうのだな、と質問を聞いていて感じました。私自身は今までたまたまひきこもり状態になったことがなく、同じく家族や友人もないだけで、これからの人生いつ当事者となるかはわからないため、自分事として関わっていかれたらと思っています。

○（ひきこもっていたことがあります。今も人は怖いです。）現在フルタイムで就労していますが、現在進行形で原因不明の体調不良がありとても焦っていました。林さんのお話は以前にも伺ったことがありましたが、今日また伺って自分の気持ちを押し込めていたことに気付きました。あと、質疑応答で声かけ、関わり方等の質問ありましたが、「基本そっちから関わって来てほしくないんだよね」と本音が出てきました。横にただいてくれればいいんだけどなあ。

○「安心できる居場所が望まれている」こと、大いに共感です。現在不登校の支援をしていますが、学校でもなく家庭でもない安心できるサードスペースが求められています。市内にはフリースクールなどもありますはまだまだ十分ではないと感じています。

○講演会の感想は、Youtubeなどで配信して欲しいと思いました。遠隔でも視聴できるように。ひきこもりに関して今後聞いてみたいテーマは8050問題。9060問題。

○ありがとう

○居場所、安心できる場所、ありのままの自分でいられる。発達問題、環境問題（学校）、心の問題（信頼できる先生との出会い大切）

○居場所、安心できる場所、ありのままの自分でいられる。

○今の状態がずっと続くだけで終わらないか。あせらないことの大切さはわかるがそれでもつい、その気持ちは出てしまう。

○上から引っぱり上げる支援でもなく、向かい合う支援でもなく、横に並んで一緒に考える支援を改めて考え直しました。また、親としては働いてほしいのではなく、学校に行ってほしいのではなく、幸せになって欲しいという願いだったことを忘れずにいたいと思いました。また、子どもが話をしなくても、普通に話しかけたり、あいさつしたり、たのみごとなどしてお礼を言ったりしてもいい、したほうがいとわかりました。「まなざし」と「姿勢」を大事にしていきたいです。

○家族会に参加している者です（静岡市）。親も当事者も、居場所が欲しいと皆言います。当然の事だと思います。そこで、家族以外の人間に慣れたい。出来たら、話がしたい。しかし、静岡市の場合、ひきこもり支援センター（DANDAN）の居場所、アンダンテの居場所等、市や県で行っている所では使い勝手がよくないという利用者の声が多くあります。本来の意味での自由に居られる居場所があるといいなあと思っています。自治体と家族会が協働することが出来ないのでしょうか。

○活動報告、対応事例など知る機会があるとよいと思います。

○聞きにきて良かったです。娘に対してのもやもやが少し晴れました。自分の態度はこれで良いのか悩んでいましたが今のまま見守っていこうと思えました。これからもこのような講演会、親の会があれば参加したいですし、本人にも参加できる居場所が見つかるといいなと思いました。

○今日は大変暑い中、ありがとうございました。現在 61 歳の男性です。中学 3 年生の時、腸閉塞の o p e をして、学校がきらいになり、一時不登校になりました。就労も 23 までうまく長くつづかずひきこもりました。30 歳で腸閉塞の大手術で、長期入院、退職をしなければならず、大変でした。51 歳でパワハラでうつ病になり、現在に至ります。毎度、死んだ方がいいと思ったか数知れません。現在、精神病院へ月 1 回通院していますが午前中は調子が悪く大変です。でも今日は、参加させて頂き、ありがとうございました。静岡市からですが、来て良かったです。

○講師の先生の「ひきこもり」原因の中に、学校に対する疑問、違和感があったというお話に共感しました。「社会に戻す」「就労状態に戻す」ではなく、本人の幸せ感のために周囲ができることを探す時代。そういうスタンスが大切なのだと明快に理解できました。そんなにも自分を責め続けているなんて、これも大きな発見でした。

○個人ではなく、社会の問題だと受けとめた。多様性をどこまで受けとめられるか、何が「普通」なのか？考える必要がある。子供たちの生きづらさを実感した。

○子供のゲームを制限ってする必要あるのかないのか？沢山やらせないほうがいいと思っているけど、結局時間のばしてと言われ、毎日伸ばしているの、言いなり？になった方がいいのか…。

○子どものひきこもりの心理を知りたい

○今回の講演を聞いて、ひきこもりや不登校の状況、支援をどのようにしていくことが大切なのか当事者の思いと一緒に知ることができた。生きづらさについてとても考えさせられる内容で、自分自身、バイトや過去の悪い記憶を思い出す度に、自分は何故生きているのか、死にたいと口ぐせのように言ってしまう、そのことを言っている自分がとてもなさけない存在なのではと考えてしまう。自分が傷つくのは良いが、他人に迷惑かけることが怖く、そのことを考えるたびに気持ちがつかれてしまう。そのような日々をおくっているため、今回の話を聞いて良かったです。

○昨年、ひきこもり支援の講演会に参加して、興味を持ったため。支援者として利用者家族の気持ちをもう少し理解しようと思ったため

○様々な事例を紹介されてとても参考になりました。

○支援から立ち直っていったケースを聞きたい

○自己肯定感を高めること大切だと思いました

○実体験された方の話が一番よいです。ひきこもり家族の接し方、世の中の対応、接し方等親亡き後の自立して生きていけるのかが心配なので、そのへんが為になるような事があればうれしいです。

○実体験や当事者の方々の声を元にした貴重なお話を伺えて良かった。「知る」ことによって、次の一步をふみ出すきっかけにしたい。「変わるべきは子でなく学校・社会」は全く同感。教育関係者として、大きな課題だが、少しでも解決に向かっていくために必要だと思われる考え方、具体策等についてもヒントをいただけたらありがたい。やれることから、やっていきたい。

○質問に丁寧に答えて頂きありがとうございました。

○自分を理解してくれる人がいると分かるだけでとても心強いです。

○周囲にひきこもり一歩手前という人が何人かいます。それぞれの人に一人ひとり接し方がちがう、そして、外に出すことがゴールではないという事がわかりました。ありがとうございました。

○就労支援機関の職員として、相談者の話を聞く際に参考となる内容だった。担当しているエリアの支援機関や取り組みに興味をもった。

○職場の電話相談には、とく名希望者の相談が増えている。関係機関と連携しながら支援できたらと思います。電話の一声もとても勇気のいる一歩だと思いますので、感謝の気持ちも伝えていきたいと思います。安心できるひとときとなりますように。

○先日、NHK「あさイチ」で女性のひきこもりがテーマの会を見た。妻に「家事が当然」と要求しつづけて追い詰めてしまった夫への認知改善プログラムのシーンがあった。このようなとりくみは全国ではまだ珍しいが、どのようなプロセスをふむのか。どこに行けば受けられるのか？原因を作る側への心のアプローチ手法も、今後全国に広めていく必要を感じている。こういうテーマの講演会があってもいい。

○先生の率直な気持ちを前に出し、大きくはっきりした声で、大変ききやすく、とてもよかったです。

○大切なのは「まなざし」と「姿勢」。上から目線を感じるなあ！向き合うではなく。横に並んで同じ未来を見ることを知りました。本当にありがとうございました。これからも同じ目線でやっていきます。

○確かあさイチ（NHK）で月～火でコメントが良かった！話す内容が自分とほとんど一致しています。

20年前より薬物治療でも今も続いていてこのままで良いのか？Drは薬物を説明なしこの地域のメンタル通院始めて、今日アナタが通院している理由が分かったよ！5年目で（浜松医大のDr）

当事者の会がこの地域でいつでも8:30～20:00 ごろまでOPENのハウス

○当事者の気持ち、具体的なやりとり（洗たく、ごはん、会話）

○当事者の声の大切さを痛感しました。社会で生きる市民として「共に在る」ことを具体的に何かしていけたらと思います。居場所を市町ごとつくりたいと思っています。私は御前崎市民ですので…。

○当人を連れて本人にも聞かせたかった事が多かった。「ひきこもり」という言葉が悪い。共感する話が多かった。内容がとても良かった。たくさんのヒントが聞けた。

○とても分かりやすかったです

○何事もなくひきこもりはないに納得出来てとても安心した。性、DVと自助Gをやってきていて、対応は同じと思いここでも安心を得ました。

○働くのが当然と本人に伝えたいが、それは地上の人間の考え方で地中の人には駄目と改めて教えられ生きているだけで意味があると本人に伝えられるような生活をしなければと思いました。

○林さんの語りがとても深く、ひきこもる人々の気持ちをよく理解することがとても大切なのだと再認識しました。多くの人々に、このような人々が社会で生きづらさを抱えていることが伝わって、ひきこもりを問題視しない社会形成につなげたいですね。

○林先生が当事者だったからこそ、お話がわかりやすく、説得力があり、支援する側として何が必要か、大切かがわかった。

○ひきこもりから長くなり「安心して家の中で生活しているからよし」となっていました。今日の話の中で、家族の中で気にかけているというメッセージや態度が不足しているのでは…とよいきっかけになりました。本人との親子関係ももう少し見直すようにしてみます。ありがとうございました。

○ひきこもりについて理解が深まった。深まったのでより一層、コミュニケーションが難しく思えた。

○ひきこもりのお子さんを抱えた親御さんのお話を聞きたい。

○ひきこもりや不登校の人を無理に家の外へ出るようにするのではなく家の居心地を良くすることで、その先を考えられるようにすることが良いことが分かった。

○不登校の子どもさんと御家族の支援をしています。対等な立場で「共にある」ためのまなざしと姿勢、まさにその通りだと思いました。ゴールの見えにくい日々にあせりや不安を感じる毎日でしたが今日、お話を伺い、ご本人、ご家族の歩調で、望まれる方向を後ろから支えながら行けばよいのだと思いました。

○もっとゆっくり話をききたかったので学齢の子どものことと、成年のことと、実態や状況、関わりと違いもあるかと思います（根っこは同じだと思いますが…）。別々にゆっくり時間をかけてきいてみたいです。

○質問コーナーが良かったです！お話の中で散々言われているのに、やはり周囲の人々というのはどこかで「絶対的な解決方法があるはず…！」と誤ってしまふのだな、と質問を聞いていて感じました。私自身は今までたまたま引きこもり状態になったことがなく、同じく家族や友人もないだけで、これからの人生いつ当事者となるかはわからないため、自分事として関わっていただけると誤ってまふ。

○当事者や身内の方と話をする事があるが、引きこもりが実際どんな状態にあるのか、どんな様子なのか、わからないまま話をしていました。今日のお話を聞いて、相手の方に寄り添える様に少しずつでも横に並んでいけるように心掛けていきたいと思ひます。

○本日は貴重な話をありがとうございます。今まで引きこもりについて話を聞いた事はありましたが、当事者の話を聞くのは初めてでした。具体的なOKとNGワード、引きこもりの時の気持ちや症状など聞けてとても勉強になりました。家族（親）としてはどうしても先の事を考えてしまうので、色々口出ししてしまひ、信じて見守るといふのはとても難しい事ですが、子供にとっての幸せとは何か。を考えていきたいと思ひます。今後の聞いてみたいテーマは場面緘黙症や不安障害の話を聞いてみたいです。よろしくお願ひします。